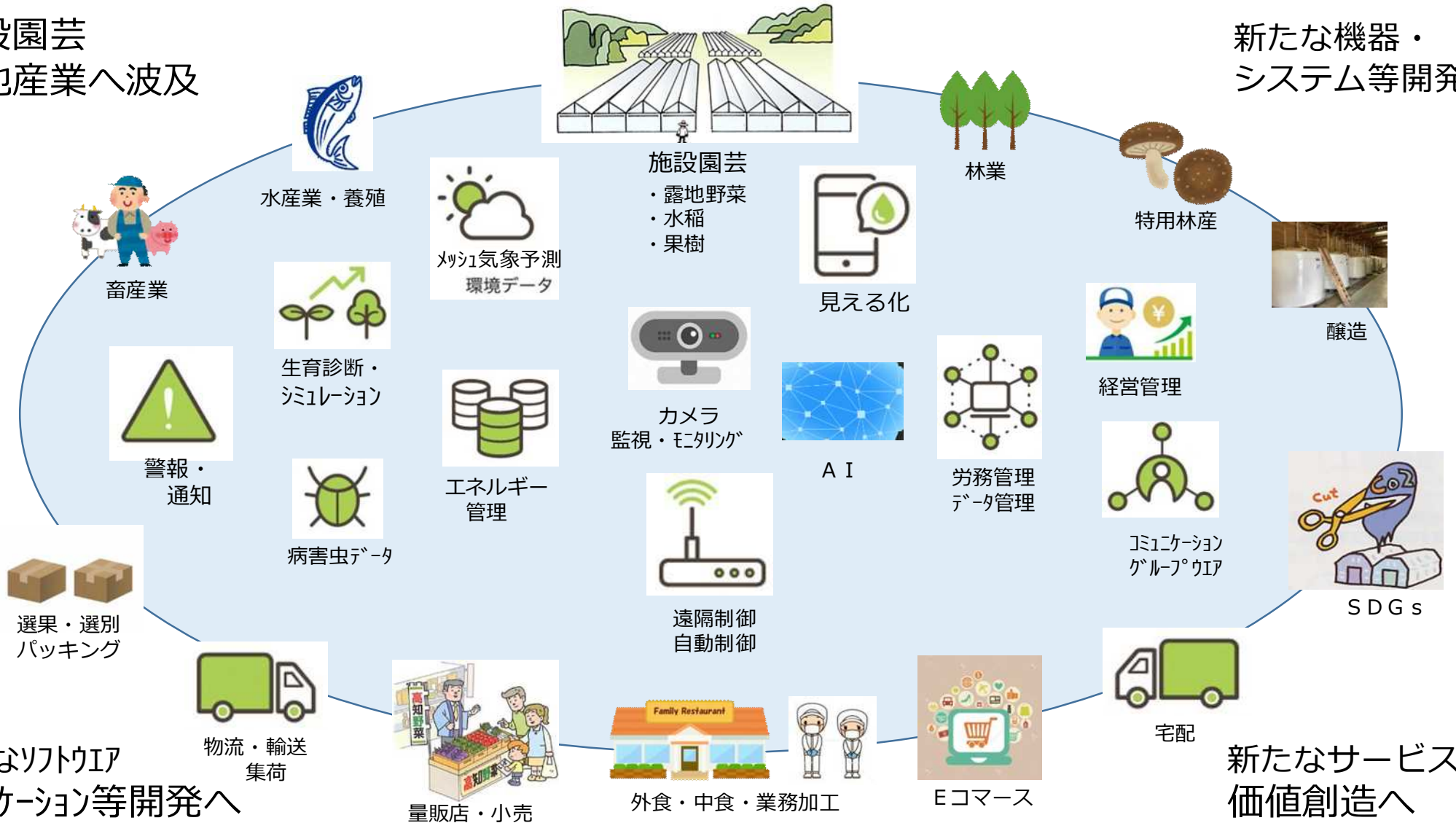


# IoPによる産業育成とプラットフォーム展開

施設園芸  
→他産業へ波及

新たな機器・  
システム等開発へ



新たなリフトウェア  
アプリケーション等開発へ

新たなサービス  
価値創造へ

# 1. I o Pプロジェクトの目的

- ① 高知県が優位性を持つ施設園芸農業について、産学官の積極的な連携のもと、農業者に有益な情報を提供するデータ連携基盤（以下「I o Pクラウド」という。）を構築し、I o Pクラウドの効果的運用による最先端の研究開発や先進的な人材育成、他分野との協業による技術革新やビジネス創出（「I o Pプロジェクト」という。）を促進することで、**本県施設園芸農業の飛躍的发展**と**施設園芸関連産業群の集積**を実現するとともに、**高知大学、高知工科大学及び高知県立大学の魅力向上**を目指す。

- ➔ 各IoPプロジェクトKPIの達成
- ➔ 高知県の施設園芸農業、大学、（税収増等による）経済等の振興

## ② 「Next次世代型連携プラットフォーム」\*の構築と運用

\*生産性向上（面積当たりの収穫量UP・作業効率UP）、高付加価値化・流通販売強化（販路拡大・Super4定）などの方針に基づき、農業生産、流通、販売に関わる様々な事業者や機関等が連携し、生産者から消費者に至るまで農業に関係するあらゆる人々を豊かにしていくための一気通貫のプラットフォーム（IoPクラウドがその中心となる）。また将来的にはこれを高知県の資産に昇華させ、他の一次産業への応用や県外・海外展開も目指す。

- ➔ 目的1.を達成するための手段でもある
- ➔ 資産化：農業全般、漁業、林業等への応用→高知県をSociety5.0型一次産業のメッカに  
：他県、海外への展開→更なる高知県経済への貢献

## 2. 「IoPクラウド」から「IoPプラットフォーム」への展開

	定義	構成要素	所有者	管理/運営者	管理/運営財源
IoPプラットフォーム (Next次世代型連携プラットフォーム)	<p>■川上から消費者、関連産業、その他一次産業に関わる人たちにとって役に立ち、必要であり、それを必要とする人達を結びつける「場」であり、これを運営することにより運営者も利用者も付加価値を上げられる、そういった「しくみ」。</p> <p>■またIoPプロジェクトを自走させるための手段でもある (IoPプロジェクトで生まれる価値⇒ビジネス⇒収益⇒再投資⇒価値向上⇒更なるビジネス⇒更なる収益⇒・・・の好循環を生む)</p>	<p>■データを収集、連携、保管するシステム (IoPクラウド)</p> <p>■決済機能 ■広告機能 ■生産物の受発注マッチング機能 ■配送との連携機能 ■データの需給マッチング機能 ■その他便利機能等 (消費者、第一次産業従事者、関連企業等に向けた)</p> <p>* <u>上記青字部分は未実装、来年度以降に追加開発が必要</u></p>	高知県が認める、IoPプラットフォームの定義を実現させられる組織		IoPプラットフォーム上で行われるビジネスからの高知県知財等に対するロイヤリティやコンソーシアム会員企業等からの各種利用料 (データ、API、テストベッド等に対する) や企業等からの広告収入など
IoPクラウド	<p>■高知県の施設園芸農業の発展、関連産業群の集積、地方大学の魅力向上を実現させるためのデータ連携・活用のための基盤システム</p> <p>■IoPプラットフォームの一部であり、データ (JAデータ、生産者データ、デバイスからのデータ等) を収集し、データとデータやデータと人/組織を連携させることで役立たせて、さらに多くのデータを収集し、またそれらのデータを保管するためのシステム</p>	<p>①データベース</p> <p>②営農支援機能 (データ収集⇒価値貢献⇒更なるデータ収集を目指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種AIエンジン (北野エンジンを含む)</li> <li>・サワチ (農家向けシステム)</li> <li>・データ分析ツール</li> </ul> <p>③関連産業育成機能 (IoPクラウドとの連携デバイス/アプリの増加、新規創出を目指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンなデバイスAPI&amp;ソフトウェア開発API</li> <li>・テストベッド (サポート体制含む)</li> </ul> <p>④研究連携機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究機関等がIoPクラウド上のデータを活用した研究を実施するための機能。またそれにより生まれた研究成果を現場の実装・普及に繋げていくための機能も含む</li> </ul>	高知県	<p>■データベース：高知県 (実務は業者等に委託)</p> <p>■営農支援機能：高知県農業振興部 JA高知県</p> <p>■関連産業育成機能：商工労働部、産業振興推進部、関連産業の業界団体など</p> <p>■研究連携機能 農業振興部、各大学</p>	<p>■高知県の県費</p> <p>■関係団体からの運営負担金(未定)</p> <p>■ユーザーの利用料金(未定)</p> <p>■IoPプラットフォーム上で行われるビジネスからのロイヤリティ (IoPクラウドなど高知県の所有物知財等を活用することに対する)</p>

### 3. I o P 推進機構を核とした「営農支援」、「関連産業育成」、「プラットフォーム展開」体制の構築

#### 今後の I o P 推進機構の事業推進体制

理事会のマネジメントの下、**営農支援事業**（目的：施設園芸農業の飛躍的発展を実現）と**関連産業育成事業**（目的：関連産業の創出・集積を実現）を担う公益事業部と、**プラットフォーム展開事業**（目的：『I o Pクラウド』のプラットフォームとしての機能充実と展開を図り、新たな付加価値を生み出す）を実施する収益事業部の2つの部門により、3つの事業を推進する。

#### 各事業の運営と収支計画

各事業毎に受益者負担を中心に自走する体制を構築していくが、公益事業部が実施する営農支援と関連産業育成については、県が一定の負担金等の支援を行う。収益事業部が実施するプラットフォーム展開事業については、民間の自由な発想でのビジネス展開が可能となるよう公的な資金投入は行わず自走する。

- ・メインとなる**営農支援事業**は、公益事業部が、県(農業振興部等)、J Aグループ高知と連携して実施し、将来的にはユーザーとなる農家からも利用サービスに応じた課金体制を構築し自走していく。
- ・**関連産業育成事業**は、公益事業部が、県(商工労働部等)、各産業団体と連携して新規ビジネスや新たなベンチャーの起業を支援、API接続・利用料や各団体からの負担金等により自走する。
- ・**プラットフォーム展開事業**は、収益事業部が、プラットフォーム展開等のコンサル受託や、IoPにより生み出される新産業によるロイヤリティ等で自走展開する。

【IoP推進機構 事業推進体制】

